

今回は、地元の小学校の地域ボランティアとして英語活動の支援をスタートされ、現在は大阪府、兵庫県の小学校でJTEとして活躍されている大橋さんの実践報告です。学級担任主導に向けてのサポート態勢、コミュニケーションの大切さを子どもたちに伝えるための授業作りなど真摯に取り組まれています。

J-SHINE 通信

2017年2月号

英語教室を開設、大阪府内、兵庫県内の公立小学校の英語活動支援、地域生涯学習英会話クラス担当、大阪市立中央図書館にて幼児向け英語絵本紹介ゆめポケット担当、J-SHINE小学校英語上級指導者資格取得者



大橋知加子 さん

■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

J-SHINE の資格取得のきっかけは学生の頃にアメリカで語学研修を受け、海外から来日される方の観光案内のボランティア活動をしていたこと、就職もアメリカ・ヨーロッパのブランドを日本企業にライセンスする会社でアメリカ人のスタッフとペアでの営業経験、ヨーロッパの服地輸入代理店勤務を通じ、様々な国を訪問し多くの方々と親交を深めることが出来ました。

その後、18年間家業の日本国内の婦人服製造業に携わりますが5年前に閉鎖を余儀なくされ、心機一転、今一度英語に携わる仕事として、今まで世界で学んだ経験を通して子どもたちに英語を教えることが出来ないかと、児童英語指導法を学び始めたところ、小学校では英語が必修になったことを知ったのです。

それならきちんと資格を取得したいと願い、(株)松香フォニックスでJ-SHINE 資格を取得したのです。

そしてちょうど自分も通っていた、また甥、姪もお世話になった大阪市立小学校の先生と出会う機会があり、小学校ではどんな授業をされているのか、参観を願い出たところ、すぐに承諾を頂き、支援に入れて頂けるよう、当時の校長先生、諸先生方の賛同を経て、地域ボランティア員として受け入れて頂いて現在に至ります。

その後、NPO 法人 TEACH のメンバーとして兵庫県尼崎市、他知り合いの補佐として大阪府寝屋川市の小学校にも携わらせて頂いています。

■ 現在の活動状況

各学校によって指導法は少し違いますが、小学校5-6年生は基本“Hi, friends!”を主に指導を行っています。英語教材の豊富さは学校によって全く違います。オーディオ関係も勿論環境が違います。英語ルームの有る、無しによって工夫がされています。

児童たちの大半が英語に関心を示して前向きに取り組んでいます。低学年から早く始める程慣れるので聞き取れる耳ができ、話せる舌、口周りの筋肉が備わっていきます。限られた授業時間の中でいかに外国語活動を組み入れていくかの工夫を大いに期待します。

ALTと一緒に授業に入れる時はHRTともコミュニケーションを取るところを出来るだけ見せ、児童も一緒にできるような活動やゲームをしています。いわゆる言葉の道具の使い方のお手本を見て貰います。

そして、私が強く伝えようとしているのは、言葉は日本語・英語に限らず意志伝達の道具である、ということです。道具はたくさん持っている方が便利で色々なものが作れます。しかし、使い方を間違えたら、人を傷つけたり物を壊してしまうことになるので、思いやりを持って上手に使えるように練習を積みかさねて自分の素晴らしい世界を広げて欲しい、と言う事です。

とはいえども、間違いを恐れて使わなければいつまで経っても上達しませんから、間違いを恐れず、間違いをすれば何がいけなかったかを気づく大きなチャンスなので、間違いも歓迎という姿勢で英語のレッスンを受けるよう勧めています。

ALTの人数は年々増加していますが、現場では英語主任の先生やHRTとの意思疎通がなかなか図れていないと見受けられます。だから、JTEの存在は非常に重要なキーポイントとなっているように思います。よほど英語に長けた方の居られる小学校は別ですが、JTEの認識もどのように考えて居られるのかも学校によって様々です。ここは私にとっても大きな課題ですが、その学校に入る前にしっかり学校側のご希望と自分の果たす役割を話し合っておくことが大切だと思います。

JTEとしてやりがいを感じる時は、道で挨拶する時に“Hello!”と言われた時、授業後に授業で学んだチャンツや歌を口ずさんでいる児童たちが居る時、また来年も教えてほしいと言って貰えた時、児童たちの目がきらきらして笑顔で果敢に英語で何かにチャレンジしてくれている姿を見ている時、“Let me try!”って一生懸命アピールしてくれる児童が目の前に居てくれる時です。

■ 今後の展望、課題、目標

これからは HRT が主導で英語活動は展開されていくことになるでしょう。一度授業が始まってしまうと、HRT と打ち合わせの時間を頂くのはとっても難しいです。ましてや行事が入ると、先生方は大げさなようですが、一秒もむだには出来ないほど忙しくなります。

JTE としてしっかり HRT の方々の方向性を組んで、いかに HRT が生き生きとした英語コミュニケーションの時間を作れるかという事を今模索、勉強中です。児童は輝く HRT が大好きです。そのように演出できるサポート、そしてクラス全体が一体となれる英語活動の場を作れるよう目指したいです。

2020 年はもう目前です。日本の小学校では 3 年生から英語が授業となります。しかし大半の先生方は小学校英語指導法を学んでおられませんでした。急ピッチで各都道府県は HRT の英語指導法の研修を進めているところだとは思いますが、現場の先生方の環境を整えてさしあげなければ、とても難しいと思います。

■ J-SHINE を目指す皆様へ

オリンピック開催を控えていることも勿論ですが、海外との接点のない社会なんて今後考えられません。日本の児童たちが日本の歴史、文化、伝統を学んだ上で世界に向けて英語で発信し、世界で活躍できる日本人を育てるサポートをするなんて、とても夢のある仕事ではないですか？！

一人でも多くの方が J-SHINE 資格を取得される様応援致します。



* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2017 年 2 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>